



RAKUWA  
lecture of health

第140回 らくわ健康教室

介護版

2013年4月4日



## 我が家の防火救急安全対策

～ 自宅で安心して過ごすために ～

洛和会本部総務室 室長 きぬがわ くに お 衣川 邦夫



子どもたちのために、未来へ…

洛和会ヘルスケアシステム<sup>®</sup>

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院  
洛和会音羽記念病院 洛和会みささぎ病院

# 我が家の防火救急安全対策 ～ 自宅で安心して過ごすために ～

京都市消防局から情報提供を受けた資料などにに基づき、お話ししました内容をご紹介します。

## 京都市内の火災発生状況

### 2012(平成24)年中

**270件**(前年比55件増)

- うち建物火災が210件(前年比30件増)  
住宅火災は135件(前年比11件増)

### 火災による死者は、

**15人**(前年比1人増)

- 放火自殺者(巻き添えおよび放火殺人の犠牲者含む)を除くと10人となり、うち高齢者が7人で70%を占めたそうです。

### 火災原因別

- 放火(疑い含む) ……57件(前年比16件増)
- たばこ ……32件(前年比2件減)
- 天ぷら鍋 ……23件(前年比13件増)
- こんろ ……20件(前年比4件増)
- 暖房器具 ……17件(前年比3件増)
- ろうそく ……12件(前年比4件増)
- コード(交通機関内配線除く) ……12件(前年比7件減)

## 火災を出さないためには

京都市消防局では、火災を出さないために、次のことを提唱されています。

### ①「放火」に注意

#### 「放火防止5カ条」

- ①家の周りには、燃えやすい物を置かないようにしましょう
- ②夜間、建物の周囲や駐車場は、照明を点灯して明るくしましょう
- ③空き家、物置には鍵をかけましょう
- ④車やバイクなどのボディカバーは、燃えにくいものを使いましょう
- ⑤地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう



### ②「たばこ」に注意

- ①寝たばこは、絶対にしない
- ②灰皿は、ふちの広い、安定したものを使う
- ③灰皿には、水を入れる
- ④吸い殻は、確実に消す
- ⑤外出や就寝前は、喫煙場所を確認する
- ⑥くわえたばこで家の中を歩き回ったり、家事をしない
- ⑦吸い殻を捨てる際には、水をかけるとともに、確実に消火できていることを確認してから捨てる



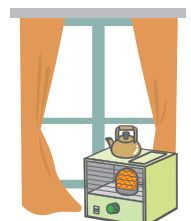
### ③「こんろ」に注意

- ①火を付けたままで、その場を離れない
- ②点火後は、炎を確認し、調整する
- ③こんろの周りに燃えやすい物を置かない
- ④こびりついた油污れなどは、こまめに掃除する
- ⑤傷んだり古くなったガスホースは、早めに取り替える
- ⑥衣服の袖口など、着衣着火に気を付ける



### ④「ストーブ」に注意

- ①ストーブの周りに燃えやすい物を置かない
- ②壁やカーテンなどとは、十分な距離をとる
- ③外出や就寝前には、必ず火を消す
- ④近くにスプレー缶などを置かない
- ⑤ストーブで洗濯物を乾かさない
- ⑥火を付けたままで、給油をしない
- ⑦給油タンクのふたは、緩みのないよう確実に締め付けた後、セットする





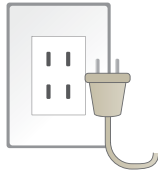
## ⑤「ろうそく・線香」に注意

- ①ろうそくや線香に火を付けたときは、その場を離れない
- ②ろうそく立ては、安定した物を使用する
- ③ろうそくや線香の周りに燃えやすい物を置かない
- ④マッチなどの燃えかすは、確実に始末する
- ⑤ろうそくの形をした電灯の使用も検討しましょう



## ⑥「電気器具・コード」に注意

- ①コードをタンスなどの下に敷いたままにしない
- ②劣化、破損したコードやプラグを使用しない
- ③たこ足配線をしない
- ④コードを束ねたまま使用しない
- ⑤プラグは、長時間コンセントに差し込んだままにせず、時々、乾いた布で掃除する
- ⑥電気配線の素人工事はしない



## 京都市内の救急発生状況

### 京都市内の救急出動件数は毎年増加

2012(平成24)年中の救急出動件数は、**77,997件**(前年比860件増)

これは、1日平均213件、  
 6.8分ごとに1件出動した計算になります。

**事故種別**…急病(64.8%)、  
 一般負傷(14.5%)、交通(11.4%)  
**傷病程度別**…軽症(65.3%)、中等症(30.6%)、  
 重症(3.3%)

救護された人のうち、高齢者は**52.1%**



## 入浴中の事故に注意

入浴中の死亡事故件数が、2012(平成24)年は130件となり、そのうち117件が高齢者で、9割を占めているそうです。

入浴中の事故を防ぐために、京都市消防局では、次のことを呼び掛けられています。

- ①日ごろの体調管理
- ②高齢者の入浴時は、家族が声を掛ける
- ③浴室全体を暖めて、高温の入浴を避ける
- ④浴室内に警報ベルを設置する



## 救命の連鎖

急変した傷病者を救命し、元通りの生活ができるようにするために必要となる一連の概念を「救命の連鎖」というそうです。

救命の連鎖は、

- ①心停止の予防
- ②心停止の早期認識と119番通報
- ③一次救命処置(心肺蘇生法とAED<自動体外式除細動器>)の使用など
- ④二次救命処置と心拍再開後の集中治療

の4つの輪がつながっており、この4つの輪を途切れなく、すばやくつなげることで救命効果が高まるそうです。

最初の3つの輪は、そばにいるあなたにしかできません。もしものときのために、心肺蘇生法とAEDを使用する一次救命処置の講習を受けておくようにしましょう。



## ためらわず救急車を呼んでほしい症状 (成人の場合)

### 頭

- 突然の激しい頭痛や高熱
- 支えなしでは立てないぐらい急にふらつく

### 顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野が欠けたり、物が突然二重に見えたりする
- 顔色が明らかに悪い

### 胸や背中

- 突然の激痛・急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

### 腹

- 激しい腹痛
- 吐血や下血がある

### 手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の膝や足に力が入らなくなる

### 意識の障害

- 意識がない (返事がない) またはおかしい (もうろうとしている)
- ぐったりしている

### けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識が戻らない

### けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

### 吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

### 飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変な物を飲み込んで、意識がない

### 事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎そのほか、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎

洛和会ヘルスケアシステムでは、「一次救命処置」の心肺蘇生法とAEDの使用法などの講習会を開催しています。

★★一次救命処置を学び、お互いに助け合いましょう★★

#### 講習会の概要

- 場所 (会場) : 洛和会丸太町病院、洛和会音羽病院、洛和ヴィアラエル、洛和ヴィアラ桃山、洛和ヴィアラ大山崎
- 日 時 : 会場により異なりますのでお問い合わせください
- 所要時間 : 3時間
- 講習内容 : 一次救命処置 (心肺蘇生法とAEDの使用など) の要領 (講義と実技)
- 費 用 : 無 料

皆さまの受講をお待ちしています。

お申し込み 洛和会本部総務室 担当: 奥田・衣川 TEL 075 (593) 4111 (代)